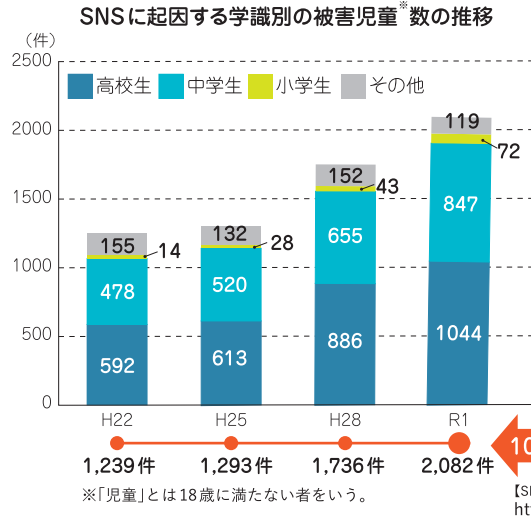


自律したスマホ・ネットの 使い手になるためには？



SNSでのトラブルやネット上での様々な危険がある中、子どもたちが被害者にも加害者にもならないために、保護者はどのようなことができるのでしょうか？



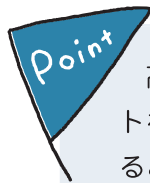
近年では、だまされたり、脅されたりして子どもが自分の裸を撮影させられ、SNS等で送信させられる被害が増加傾向にあります。

被害児童のアクセス手段の多くがスマートフォンによるもので、被害児童の約9割がフィルタリング利用をしていませんでした。

【SNS】学識別の被害児童数の推移（警察庁）をもとに作成
<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg21546.html>

子育てへのアドバイス

この時期の子どもは、親の保護を離れ社会に向かって歩みだし、家庭教育もいよいよ最終段階です。本人の自立に向け人生の先輩として子どもの将来を見据えた温かいアドバイスをしましょう。



高校生にもなると、学校での学習や日常生活でスマホ・ネットを便利に使えることから、管理や使用法は本人にまかされることが多くなりますが、保護者として「スマホ・ネットを正しく使用できているか」という視点とともに、ネットの問題は「心の問題」ということも忘れないようにしたいものです。

表面的には強がっていても、さみしさや不安から保護者や周囲の大人の適切な関わりを求めているところもあります。ネットの中の人間関係にのめりこんで被害に合わないよう見守ってあげましょう。ネットを「正しく怖がり、賢く使う」ことについて親子で語り合うことから始めてみませんか？

まかせられるように
見えるけど
適切な関わりを！



ふりがえってみよう

- 子どものスマホ・ネットの利用状況を確認するようにしている。
- ネット事情、学習や日常生活に活用できるアプリ等についての情報を得ようとしている。
- 子どものスマホ・ネットの使い方について、被害・加害の両面から考えたことがある。
- 家族での会話を大切にしている。（将来のこと、興味のあること等）